



カメラ レポート

おいしくお米を

食べる交流会

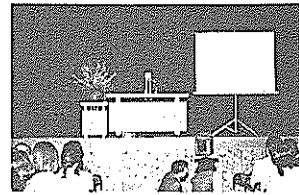


平成二年度米消費拡大事業の一環として、おいしくお米を食べる交流会が十月三日、高知農業高校で開かれました。

生活改善グループの皆さんの指導で、生活科の三年生の皆さんが、さばの姿ずしやこんにゃくすしなどの郷土料理に挑戦。

同和教育研究大会

南国市同和教育研究大会



差別の現実から学び、未来を保障する教育を、十月十七日、朝鮮奨学会の梁東準さんを講師に迎えて、第二十三回南国市同和教育研究大会を開催。

本場の発音を

耳で覚えよう



県教委のブレネン・バウンズ先生を迎え、二十七人が参加して、十月十七日から婦人講座「英会話講座」が始まりました。

チャリティー射撃大会

十月七日、芸西村のニッサンミロク射撃場で、南国猟友射撃クラブがチャリティー射撃大会。この日の参加費や募金など七



万円を、市福祉事務所に寄付しました。

君原選手を迎えて

健康づくり講演会

九月三十日に商工会館で、五輪銀メダリスト君原健二さんを講師に迎えて、第二回南国市健康づくり講演会が行われ、小学生から七十代まで約三百人が参加。講演会の後、商工会から高専までの約五キロを君原さんといっしょに元気いっぱい走りま



十市パークタウン 完成

56haに1,543戸



県住宅供給公社(岡林章夫理事長)が、昭和五十八年から造

成を進めていた十市パークタウンがこのほど七年ぶりに完成。十月二十一日に十市小学校で、中内知事、小笠原市長、岡林公社理事長ら関係者約三百人が出席して完工式が行われました。十市パークタウンは、県下有数の野鳥の飛来地である石土池が南に広がり、「延喜式」にも記載されている石土神社がすぐ近くにある自然と歴史豊かな土地高知新港の後背地高知市三里地区に近接しており、黒潮ラインを通過して空港まで十五分という交通の便にも恵まれたところ

す。南国市十市土地区画整理事業として、住宅供給公社が十市錦城地区五六・二秒を、約百七十億円かけて整備した。一区画は標準二二五平方メートルで、全体計画は公社、民間、県営住宅合わせて一千五百四十三戸。人口は五千四百十六人を見込んでいます。住居表示は緑が丘一〜三丁目となり、地権者の住宅や業者のモデル住宅、県営住宅などがすでに建築されており、二十七日から住宅展が開催され、分譲が開始されました。